

2012年度 「中国 大連・東北部通信」 NO.3 6月5日

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 辛川 公浩

◆副所長 呂 俐 ◆主任 劉 振傑

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

第26回 大連国際マラソン開催

ハーフマラソンの部 北九州市 黒崎播磨様 1位・2位獲得!

5月12日土曜日、大連市金州新区金石灘にて大連国際マラソンが開催されました。今年で26回目を迎える当大会は中国国内のみならず、外国からも招待選手を募り大体的に行われている大会で、今年はずべての部（フルマラソン、ハーフマラソン、ミニマラソン、駅伝、車いすフルマラソン、車いすハーフマラソンの6種目）で総勢1401名が参加しました。

友好都市である北九州市も、スポーツ交流の一環として選手団を派遣しており、過去何度も優勝を飾った経歴があります。今年も北九州陸友会の武内周二監督を筆頭に黒崎播磨様よりフルマラソンの部で坂田健児選手、ハーフマラソンの部で祝田守選手と塚本秀志選手が今大会に参加されました。

当日の気温16～22度、天気は曇り。当初は雨が降るのではないかと、との予報だったので、監督に「暖かいし、雨も降らなくてよかったですね。」とシロウト目線からの話をしたところ、「マラソンの最適温度は10度ぐらいなんで少し暑いくらいですね。あと中国は少し埃っぽいんで、少し雨が降ったら埃っぽさも無くなったんですけど」とのご回答。目からウロコのお言葉でした。

尚、選手の方々は試合2日前より大連に入って来られ、コースの下見もされていたので、「大連の道は走りやすいですか？」と聞いてみました。今大会の行われる金石灘というのは海沿いにある地域で、レジャースポットとして大連では知られています。つまり道の整備等インフラについては大連市内でも有数の場所であるといってもいいと思います。道の舗装も（あくまで大連市内の中では）ちゃんと行われていますし、元々観光資源として作られた地域なので（繰り返しますが、あくまで大連市内の中では）道も平坦にできています。大連に住んでいる人間にとってはとても走りやすそうな道なので、前向きなご回答をいただけるのかと期待しておりました。すると「走りづらいです。クラック（ひび割れ）も多いですし、アップダウンも結構あるので・・・」とお言葉。改めて日本って綺麗な国なんだな～、と実感させられました。

8:30、スタートの時間です。ここで軽いトラブル発生。全員が一斉にスタートするためスタートの箇所がとんでもない状況となっています。人、人、人でほぼ前が見えない状況です。中国は基本的に「並ぶ」という概念がないのでスタート地点が押し競べ頭になっています。勿論北九州市からの3選手もそ

の中で大変なことに……。マラソンはスタートが重要らしく、この状況はかなり不利なものようです。するとどこからともなく「フルマラソンの招待選手は別途スタートラインがあるらしく、かつケニアなどの有力選手はそちらにスタンバイしている」という情報が入ってきました。旅行社の通訳さんもそんな話は全く知らなかったようで、急いで選手を呼び、そちらに移動させて一件落着。ただ通訳さんは警察の注意を振り切ったので少し怒鳴られていました。

とにかく何とかスタートを迎えることができ、競技開始。

歴代の優勝者の最短タイムを見てみると、フルマラソンは第23回優勝者の2時間13分10秒、ハーフマラソンは第4回の1時間7秒となっています。ちなみにハーフマラソンが定例化されたのは2008年からで、それまでは不定期開催でした。尚定例化されてからは1時間4分41秒というのが最速です。

監督の話によると、フルマラソンは自己新記録が出れば、ハーフマラソンは優勝タイムが例年通りであればいい所に行けるのではないかとのことでしたので、とりあえずゴールのところで待機していました。

1時間経過。続々と車いすマラソンの選手がゴールに入ってきます。もうそろそろかな、と監督と話していた矢先、突然ゴールに飛び込んできた人影が……。塚本さんでした。すげ〜一番だ〜などとバカ丸出しの感想を思っていたところ、またもやゴールに人影が。祝田さんでした。写真を撮る心構えのないまま招待選手二人が1、2フィニッシュ、すごかったです。

フルマラソンの方はさすがに賞金稼ぎのアフリカの選手の方々（聞いた話では、組織的に走って、ゴール後賞金を山分けするそうです）がトップ集団を陣取っており、坂田選手は惜しくも入賞はならなかったものの、13位でゴール。



ハーフマラソンで1位でゴールする塚本選手（左）と2位でゴールする祝田選手（右）

そして表彰式。選手の皆さんは晴れやかな笑顔を見せてくれました。その後も疲れも見せず中国のマスコミから見ず知らずのおばさんまで、笑顔で対応されていました。

選手の皆さんは異国の地大連で「北九州市の誇り」を見せてくださいました。こちらとしても大変誇らしいものでしたし、いいものを見せていただきました。監督、選手の皆様、本当にありがとうございました。

各選手の成績

マラソンの部	坂田 健治	選手	2時間 26分 56秒	13位
ハーフマラソンの部	塚本 秀志	選手	1時間 5分 58秒	1位
	祝田 守	選手	1時間 6分 20秒	2位



左から武内周二監督、坂田健児選手、祝田守選手、塚本秀志選手



お疲れ様でした！